



7 July

あつー！
「おにぎり」
「おにぎり」

流しそうめん (大寺ほたるまつり)

やまのべ ぎかい YAMANOBE Assembly Letter だより

- 南風園建替えスタート 2P
- 未来を話す会 4P
- 一般質問 町はどうする? 6P

発行/山形県山辺町議会 編集/広報常任委員会
Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp



〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

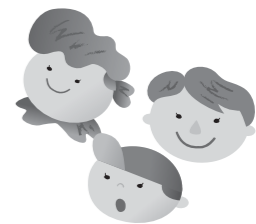
やまのべ ぎかい
だより

2016年7月号 VOL.93

●発行/山形県山辺町議会 ●編集/広報常任委員会 ●表紙デザイン/ Zoo's design
〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 ○印刷/藤田印刷



ちょっと!! ひとこと



山辺のおいしいを創造



阿部 秀顕さん (根拠)

—プロフィール—
株式会社山形ピッグファーム代表取締役。「安全で最高においしい豚肉を真心で」を至上命題とし、日々努力を続ける。

地元山辺の生産者が作った飼料用米を食べる山辺の豚「舞米豚」を育てています。

飼料用米は、国の減反政策によって転作しなければならぬ田んぼを、家畜の飼料用米を作ることで利用し、田んぼの機能を保つよう位置づけられた作物です。田んぼを保ちながら農家は同じ機械で米を生産でき、いつでも「飯米」に戻すことができます。

一方で、米という安心な飼料で豚を育てることができ、肉質が良くなり、田んぼに豚の堆肥を還元できることから環境循環型の農業ができるメリットがあります。こうした取り組みは全国でも増えています。特に、米を作っている農家の顔、豚を育てている人の顔までフィードバックできるものはなかなかありません。

地元農業の先導役として舞米豚は生まれ、舞米豚祭り、アイデア料理フェスタ、モンテディオの応援、給食や加工品を通じたPRを続けています。山辺町内や山形市内の飲食店でもたくさん利用いただいています。

今後は、生産になお一層力を入れ、飼料用米の効率利用も視野に入れて進めていきます。加工や販売も次の一手としては考えなければならぬでしょう。町が舞米豚を通して元気になるようないろいろな取り組みでいきます。

町のイベントにも今まで以上に積極的に参加し、町の人から「おいしい」の言葉がいただけるよう頑張ります。町外まで羽ばたけるよう応援お願いいたします。

表紙の説明



6月25日、大寺地区のほたるまつりが行われました。子どもたちが蛍の絵を描き、その後は恒例の流しそうめん。口いっぱいにほおぼっていました。「外でみんな食べてみると、どうしてこんなに美味しいの？」あつという間になくなり、ゆでてもゆでても追いつきません。暗くなつていよいよみんなで蛍の観賞のため小鶴沢川に移動。雨が降りはじめ蛍の数は少なかったものの、きれいな川の大切さは後世に伝わっていきます。

編集後記

山辺町が誇る「さくらんぼ」の収穫が一段落し、周りの緑がより濃くなりました。また、「ラベンダー」も見ごろになりました。山辺になりました。あたりまえにある自然に感謝し、大事にする心を育んでいきたいです。

今年から出前議会を企画実施しています。たくさんの方々の夢や想いをお聴きして、まちづくりに活かしていきます。

多くの団体グループの方の申し込みを期待します。

斉藤 昭彦 記

- 発行責任者
- 議長 鍋倉 竹志
- 広報常任委員会
- 委員長 遠藤 真由美
- 副委員長 渡辺 知広
- 委員 齊藤 昭彦
- 委員 武田 啓一郎
- 委員 渡邊 裕二
- 委員 安達 春彦

◎町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



にプラス!

第2回定例会が、6月13日から15日までの会期で開催され、4人の議員が一般質問を行いました。
山形広域環境事務組合議会議員の選挙が行われ、本田四志子議員、齋藤邦彦議員に決まりました。
すでに施行されている町税条例の一部改正を含む4つの専決処分を承認し、2件の条例改正議案、いじめ防止対策推進に関する新たな条例の制定、28年度一般、特別会計各補正予算を審議。全会一致で可決されました。

子育て向け3LDKと高齢者向け1DK

南風園建替えスタート

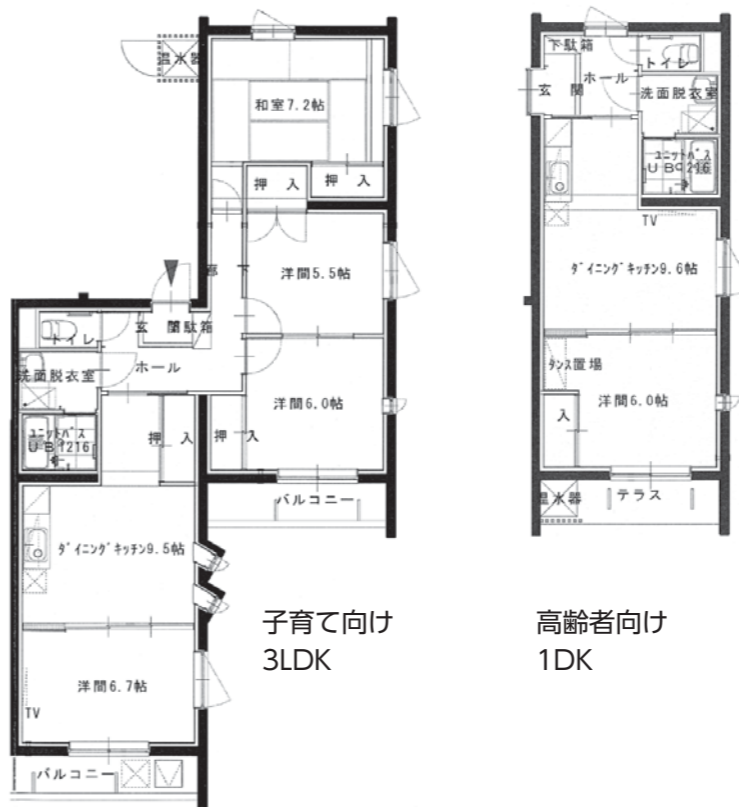
1億5353万円で落札



安全祈願祭

(株)渋谷組 (山形市)
オール電化で安全に配慮した建物になっています。
安心できる高齢者の住まい確保、子育てしやすい住環境の整備、住みやすさの向上、とりわけ町外から移住したくなる定住者誘導。やまのべ総合戦略に結びつくことを期待します。

平面図



南風園完成イメージ (北側出入口)

若者世代の応援

今後も期待

主な補正予算

議会提案

放課後 児童クラブ委託料

341万円の増額

やまべ幼稚園が放課後児童クラブ実施事業所に認定

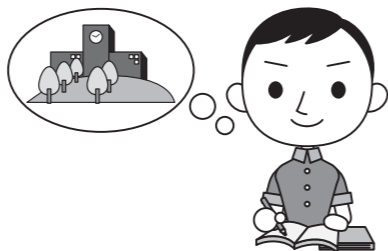


放課後安心の拠点ができました

山形県若者定着 奨学金返還支援事業

187万円の増額

大学院、大学その他の学生で日本学生支援機構の奨学金を受けている方や受ける予定の方が、山辺町または山形県に就職の場合、奨学金の返還に助成(県の認定が必要)



議会提案 管理運営事業

47万円の増額

東部、北部、大寺、相模の各公民館とふるさと資料館に身体障害者用駐車スペースを新設

担い手育成 支援事業

165万円の増額

青年就農給付金新規1名分と認定農業者等連絡協議会支援の増

議会提案 山辺中学校 改築事業

1785万円の増額

クラブハウスを広げ、トイレの数を増やし、グラウンドに新しいLED照明を設置

条例の制定

いじめストップ!

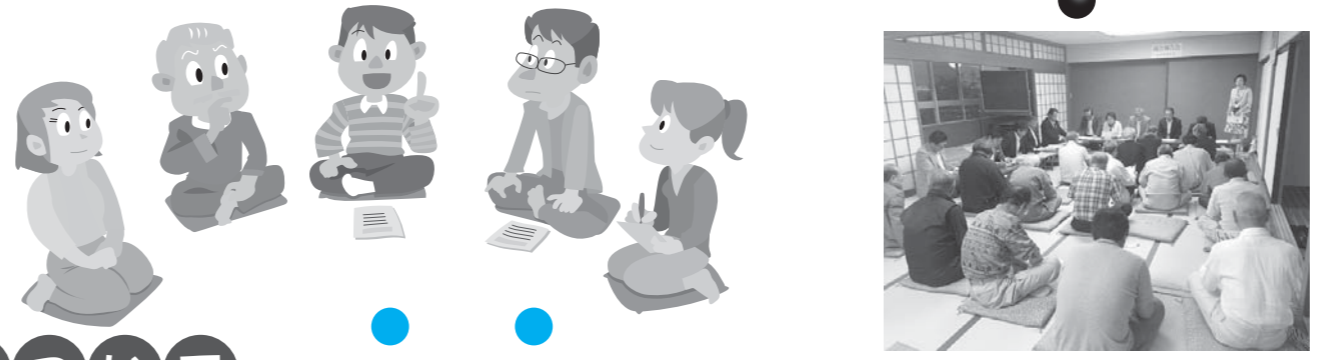
国の「いじめ防止対策推進法」に基づき山辺町では、いじめ防止基本方針の策定ならびにいじめ問題対策連絡協議会、いじめ問題専門委員会、いじめ重大事態再調査委員会の組織および運営に関して必要な事項を定める条例をつくりました。
いじめ防止などのための対策を総合的かつ効果的に推進します。
いじめのない先進地「山辺町」になるよう、大人も子どももみんなで取り組んでいきます。

ご参加いただき
ありがとうございます

今年で6回目となる議会報告会を5月21日(土)、中央公民館を会場に開催しました。今回は20名の参加者とテーマを設けず、山辺の未来について話し合いました。いただいたご意見は、今後のまちづくりに活かして行きます。

未来を話す会

第6回議会 報告会開催



その他

- Q. 公共料金のコンビニ納付ができるが良いが。
- A. 議会から提案したことがあるが、1件当たりの銀行への手数料が6倍に上がるので難しい。滞納を防ぐ手段として有効であるか他市町村を調査したい。
- Q. 議会中継はしないのか。
- A. 近隣では取り入れている議会も多いが、安定した放送をするには多額の費用がかかる。経費のかからない方法など情報を集めており検討中である。
- Q. 議会だよりの賛成・反対討論の記事にはそれぞれ議員の名前を載せて欲しい。
- A. 検討していく。
- Q. ここで録音しているICレコーダーの記録は、後で確認するために残しておいては。
- A. 公文書や議事録作成のためでなく、あくまで議会報告会の要点記録(メモ)の作成に使用する音声なので考えていない。

防災について

- Q. 大地震が起きた時、発電機は各公民館にあると思っている。使い方の講習会をして欲しい。
- A. 災害時に各公民館へ配置する発電機はいつでも使えるように役場で一括メンテナンスをしている。講習会については公民館主事会や、自主防災会内での防災訓練時に開催してもらえるよう要望する。

施設について

- Q. 駅の改築と合わせ、駅名を「やまのべ駅」にできないか。
- A. 駅名を変えるには、看板などJR全体の変更になり莫大な費用が生じるので、現段階では難しい。
- Q. 駅前の整地された跡地には車を停めていいか。
- A. 止められないと返答したが、送迎などの一時的な駐車は可であったので訂正する。
- Q. 小中学校の統合、今後の展望は。
- A. 学校の統廃合は地域の実情に合わせてやって欲しいというのが国の方針。当町でも学校に通わせている保護者の方々から意見が出るようであれば進むのではないかと。不登校児が少数学校へ元気に通うようになったという事例もあるので、議会としても注視していく。

財政について

- Q. 町の債務(借金)残高が1人当たりの金額は減っているのか増えているのか。
- A. 昨年度の1人当たり残高は減っているが、今後、中学校改築に伴う返済が始まってくるので支出が増えると思う。議会として無駄がないかチェックしている。
- Q. ふるさと納税、天童市や舟形町が上位に入っている。山辺ももっと頑張りたい。
- A. 山辺町は県内で真ん中くらいの順位で、町も返礼品を増やすなど努力し年々寄付は増えている。舟形町のポイント制などは良い試みだと思う。
- Q. 山形の消防、西崎出張所が西署になるので負担金が増えるようだが。
- A. 署格上げに伴う職員の増員や訓練塔の建設及び高規格救急車の配備に係る費用を案分した金額。現在119番にかけると直接山形市消防本部に繋がるので救急車や消防車の到着が早く、消防力の強化が図られている。

第1回 出前議会

町民はどのような町づくりを望むのか

開催日 6月20日(月)
出前先 山形山辺会(会員12人出席)
出席議員 鍋倉竹志議長・本田四志子 齋藤邦彦・遠藤真由美

鈴木会長より「きらりと輝き続ける協働のまちづくり」とは具体的にどうしていくのか?という問いかけから、「テレビで取り上げられても山形産は強調されるが、山辺という地名は出てこない。もっと貪欲に山辺PRを!」

「山辺には素晴らしい産業がたくさんあるが、点であり線になっていない」「山形市に近く通勤も楽だが、その分危機感も少なく中途半端だ」「ジギスカン祭りやどろんこパレード、あがすけダンスなど、なぜ長く続かないのか」「ふるさと納税、空き家対策にもっと力を入れるべき」など、人口減少や町の活性化について意見交換をしました。

会員からは「役場も商工業も議会も真剣に取り組んでいるが、自ら事業を起こそうとする事業者が出てこないのが現状だ。山形市に近いことがデメリットではなく、チャンスととらえるべきでは」など前向きな意見も出されました。



今後、議会と商工業、役場との良い連携のため、有意義な情報交換の場を重ねていきます。

安全対策

緑ヶ丘地内に街路灯および横断歩道の設置を

(町長) 関係機関との連携と情報を共有し、対策を講じていく



安達 春彦

質問 山辺中学校が完成し、中央公園や緑ヶ丘公園も年次的に整備され、山形市の隣接地として都市化が進んでいる。一方で地区内の通学路における街路灯並びに防犯灯の設置不足を感じている。なかでも緑ヶ丘おーばん前南北線やおーばん東側通学路、緑ヶ丘北5号線・10号線においては、特に安全確保が不十分なのではないか。

答弁 「おーばん山辺店」に隣接する西側及び南側の主要地方道山形朝日線、信号機のある交差点から南に向かう町道緑ヶ丘南幹線においては、十字路ごとに街路灯があり、当初に整備したものであるためご理解いただきたい。緑ヶ丘北5号線・10号線においては、確かに全体的に暗い状況。「おーばん」駐車場の南東角から、緑ヶ丘4丁目内にある調整池ま



(上) 昼の様子 (下) 夜の様子

質問 での区間については、防犯灯を設置していく。さらに緑ヶ丘北5号線の区間については、今後設置の方向で検討していく。

答弁 町内通学路の危険箇所では、学校・警察・山形県・町の建設課・教育委員会が合同で安全点検を毎年行っている。また、それぞれの学校PTA保護者により月1回の点検並びに夏休み期間中の安全点検などを実施しているが、下校時については課題となっている。PTAからもご意見をいただいているので、これらの点検を通して危険箇所の把握と関係機関との情報を共有し、今後安全な通学環境の改善に努めていきたい。

答弁 現時点で、おーばん側の電柱はお借り出来るよう交渉しており、その他電柱も東北電力と調整しながら設置の方向で進めている。



子どもたちが安全に渡れる横断歩道を

一般質問

町政のここはどうする？



一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考え方などを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。

山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

傍聴しませんか 次回の定例会は9月です。お気軽にどうぞ。電話 667-1117 (議会事務局)

6月の定例会では、4人の議員が一般質問を行いました。

安達 春彦 **安全対策** 緑ヶ丘地内に街路灯および横断歩道の設置を

斉藤 昭彦 **地域推進** 地域コミュニティ推進事業は

武田啓一郎 **農業水利** 先人の偉業『諏訪堰』次世代に伝える大改修を

神保 稔 **健康増進** 健康への意識の向上とその取り組みは
農業問題

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

農業水利

先人の偉業『諏訪堰』 次世代に伝える大改修を

(町長) 堰の長寿命化対策を重視して色々な形で伝承



武田啓一郎

答弁 諏訪堰の大切さは充分感じているが、最上堰と最上川中流の双方の土地改良区による農業水利事業により、劇的な進化を得

質問 百年の恩恵に次世代に伝えていく諏訪堰の大改修をしていくべきではないか。

質問 山辺大寺用水堰『諏訪堰』は、開削通水して約百年。山辺大寺地区の田畑を潤い続け、豊かな実りと生活の命の水として地域の暮らしの源となってきた。堰の現況は、老朽化した2カ所の水路橋、水路の漏水による法面崩落が時折発生している。

た。水不足が一旦に解消されている。諏訪堰は現在、山野辺玉虫地区ふるさと保全の会との連携で維持管理している。漏水や修繕箇所は、現場確認を踏まえ計画的に協議を進めている。水路橋などの改修は、多面的機能支払



老朽化し、鉄柱で補強されている運台寺地内の水路橋

答弁 通水量の増加を得るための協議は難航が予想され、理解を得ることは困難かと思われる。市街地の道路側溝の

質問 次世代に伝えていく堰として、通水流量増の協議調整を諮り、耕作放棄地解消のための安定供給と街中環境保全を高める事業に結びつけられないか。

交付金事業で保全の会と共同して取り組むよう協議を進めたい。

質問 堰の下流域に、大量に流れる細粒砂の流入防止対策ができないか。

答弁 鬼の目砂防ダムの上水を取水しているもので、堆積砂はほとんど改善していると確認している。堆積砂が再発しているとすれば、砂防ダムの堆積砂を取り除くことも視野にいれ、どのような



刈り払い草や枝が詰まった狭い水路が越水し法面崩壊、緊急復旧工事が施工された諏訪山登り口

答弁 色々な形で偉業の伝承は必要と思うので、公民館事業や子どもたちの学びの場で学習を付加する事などを思慮する。

質問 諏訪堰は、農業用水にとどまらず町民の生活環境保全に大きく貢献し、街中清流として潤いをもたらしていることを改めて広く周知し、先人の偉業を伝承していくべきはないか。

工法があるのか、県などと協議していく。

地域推進

地域コミュニティ推進事業は

(町長) 新たな助け合いが生まれることが重要



斉藤 昭彦

質問 ブロック協議会の運営およびコミュニティ活動の取り組みに応じた助成金制度を創設したが、昨年度の実績とそれに対する町の考えは。

答弁 地域コミュニティについては、今後の人口減少や少子高齢化などの社会情勢から、地域コミュニティの充実と推進を図るため、町内の公民館を中心とした10のブロックすべてにおいて、新しいコミュニティ組織となるブロック協議会が設立された。ブロック協議会への支援策として運営費となる報奨金と事業実施

のための事業補助金の2つの助成を行っている。

どちらの助成金もブロック内の世帯数に応じた助成額の交付を行った。事業補助金については、各ブロックにおいてさまざまな事



中央ブロックのふれあい交流コンサート

業を行っており7つのブロック協議会に補助金を交付した。各ブロックの事業内容については、中央ブロックで町内会の相互交流、親睦により今後の活動を円滑にしている。ふれあい交流コンサート」。大寺ブロックと近江ブロックは、これまで実施している「盆踊り大会」での活用。北部ブロックと緑ヶ丘ブロックは子どもをメインとした「餅つき大会」。作谷沢ブロックは、「応急手当の講

習会」と併せて「地区民交流会」を実施。相模ブロックは、相模の道を歩きながら、相模の歴史に触れるウォーキングを実施した。昨年度は一つの事業に対しての助成であったが、今年度より事業の数に制限を無くして幅広い事業の活用ができる。事業を実施する事も重要であるが、隣接する町内会などとの話し合いがなかった地域が地域の課題について事業を行うための話し合

この事業の継続期間はいつまでか。



相模の歴史に触れるウォーキング

質問 この事業の継続期間はいつまでか。

答弁 地域コミュニティの達成基準などは、定めていないが、5年後位をめどに事業の内容や、参加人数、事業による地域コミュニティ推進がはかられているか検証し、修正などを検討する。

一般質問

どうなったべ？ あの質問



議員が定例会で行った一般質問が、どう町づくりに反映されているか、これまでの質問の一部を取り上げました。

町中央公園リニューアル 子どもランドの整備などを

平成27年6月8日 第2回定例会

Q 山辺町中央公園の町民グラウンドなど、主な施設が出て30数年が経過している。時代のニーズを見通した施設全体のリニューアル、改修を進めるべきではないか。大型複合遊具や水遊びもできる子どもランドやスケートボード場を整備し、子どもや若者の声ももっと響く公園にしてはどうか。

A 子育てしやすい環境整備の一環として5次総に盛り込んでいくべき課題と考える。まずは、古い遊具の撤去、大型複合遊具を含む施設の更新、整備をはかっていきたい。

結果

今年度の社会資本整備事業交付金における公園施設長寿命化対策支援事業により、山辺町中央公園の児童広場の古い遊具を撤去し、大型複合遊具などが整備され、合わせて児童広場が拡張されます。町内の子どもたちにアンケートをとり、計画がまとまりました。今年中に児童広場がリニューアルします。お楽しみに…。



リニューアルイメージ図

慣病に起因する疾患が増加している。引き続き健診や精検の受診率の向上、教室などの普及推進事業の充実に努めていく。

質問 27年度の出生数は。

答弁 91人と対前年より18人の増となったが、ここ数年は100人を割っている状況である。さらに新規事業の開催や引き続き「生まれる前からの切れ目のない子育て支援事業」の推進に努めていく。

農業問題

質問 農業委員会法の改正に伴う取り組みは。

答弁 委員の任期は29年4月16日に満了となる。改選時に新制度へ移行するため、現在関係機関と協議を行っており、9月以降の議会に条例改正などを上程する予定である。

質問 町の農業振興施策への影響は。

答弁 平成30年以降の米政策の見直し

に伴い、生産者への影響を見極め、需要に沿った主食用米の作付面積の確保と米価回復に向けた需給バランスの改善や売れる米づくりの推進をはかっていく。そばについては、団地加算、担い手集積などの助成を講じながら、遊休農地対策を含めた作付面積の維持、拡大を目指していく。後継者、新規就農者の育成については、各種制度、施策を十分検討し、地域特性を活かした総合的な支援の強化をさらにはかかっていく。



遊休農地活用による野菜の栽培

住民増加に向け 「婚活支援」の強化へ

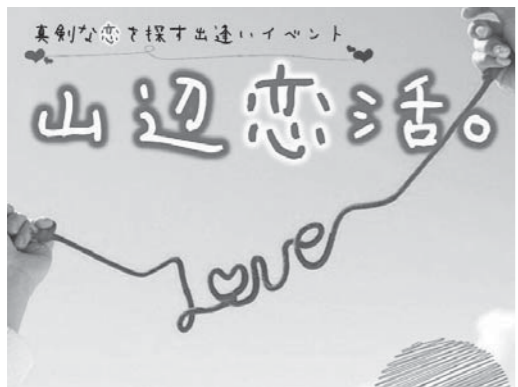
平成27年9月11日 第3回定例会

Q 年々減少する婚姻届。山辺町の経済や住民増加につながるためにも、町として婚活支援の強化に取り組む必要があるのではないか。

A 引き続き「むらやま広域婚活事業実行委員会」に参画する方針。また、仲人会会員の方のお引き合わせで成婚し、山辺町に居住した場合の報奨金を検討する。さらに、さまざまなイベント情報を収集し、皆さまへの情報提供に努める。

結果

婚活の支援員登録制度がつけられました。結婚し、山辺町に住むことになれば支援員に10万円の報奨金が支給されます。6月19日には町内で民間による婚活も実施され、2組のカップルが誕生しました。出会いには官民あがでの取り組みが必要です。



民間主催の婚活イベント

健康増進

健康への意識の向上とその取り組みは

(町長) さらに生きがいや安心、健康な心とからだづくりに町をあげて取り組んでいく



神保 稔

質問 27年度の健診受診状況は。

答弁 特定健診受診率は50%の目標に対し、子宮がん、乳がん検診の微増などにより42%の実施率となった。精検受診率は92%で100%を目指して、今後も電話や家庭訪問などを強力に推進していく。

質問 脳ドックやベツトCT検査などへの一部助成は。

答弁 実施市町の状況および受診施設等を調査し検討していく。まずは、健診受診の推進に努めていく。

質問 26年度の死因別状況は。

答弁 191人の死亡数のうちがんが54人、高血圧が起因する循環器系53人で約6割を占め、特に肺がんや呼吸器疾患、生活習



すすんで受診しよう



新しい町への挑戦

将来を見据えた開発を



鳥海山のビュースポット再生

5月16日、鳥海山山頂および玉虫沼周辺遊歩道の現地視察を行いました。鳥海山山頂は、今年、山頂ビュースポット再生整備計画が取り組まれており、現状と整備内容を確認しました。山頂からの眺望は絶景で、周辺整備をしっかりとすることに、気軽に行きやすい観光地になる事を期待します。

厚生産業常任委員会

玉虫沼周辺遊歩道は、一般質問や委員会の要望などで、再三整備の必要性を訴えてきました。しかし、現在も木の根の張り出しや湧水で、アスファルトが剥げたり歩道がぬかるんだり、とても安全に散策できる状態ではありませんでした。事故予防の観点からも早期の整備を望みます。

山辺温泉をより良く

5月17日山辺温泉保養センター施設の状況と利用者実態などについて、理事長と町担当課からの説明を受け調査を行いました。開業以来、累計777万7777人の来場があり、近隣公共温泉の中でも上位の位置。町内外の方々からも好評で、町の重要な観光拠点になっています。

今年度末で指定管理委託期間が更新となるので、指定管理者の選定には入場者数増のみを望むのではなく、食堂や売店の営業時間など利便性が向上するよう担当課へ要望しました。町にとって、にぎわいの拠点にあるこの山辺温泉施設が、地方創生の一役になれることを願います。



1号源泉ポンプの確認

総務文教常任委員会

「紙面表現の「基本」を学ぶ 県町村議会広報研修会」
5月25日、山形国際交流プラザにおいて、県町村議会議長会主催の広報研修会に参加しました。グラフィックデザイナーの長岡光弘先生より「議会広報紙における紙面表現の基本」と題し紙面編集と表現のポイントなどについて講義をうけました。
住民に読んでもらうための紙面づくりや、興味を抱かせる見出しが設定されているかなどを教えてくださいいただきました。これからも皆さんから手にとって読んでもらえる紙面づくりを研究していきます。



ふるさとの風



さくらんぼ、今年もありがとう

東京山辺会

6月19日、東京上野のホテルパークサイドにおいて総会と懇親会が開かれ、遠藤町長、神保稔議員、渡邊裕二議員が参加しました。総会では、伊藤健助会長が長きにわたる会長職と山辺への想いを話しておられました。懇親会でのシュガーシスターズ（佐藤容子・寛子姉妹）による「ふるさと」合唱と、お土産に持参した山辺のさくらんぼの味に、皆さんはしみじみと故郷に思いをほせておられました。会場には山辺の初夏の風が吹いているかのようでした。

熊本へエールを！ 義援金を寄付

4月に発生した熊本地震の被災者を応援、支援しよう！と、県町村議会議長会会長でもある鍋倉議長をとおして、熊本県町村議会議長会へ議員全員で義援金を寄付しました。
地震に続き、大雨による被害が出ている中、これからの厳しい暑さで熱中症も心配されますが、1日も早い復興をお祈りいたします。

面白人形芝居で大盛況 大蔵北山会



『ちくわんぴーす』を励ます会員の皆さん

5月29日、渋谷のパブ山形において「大蔵北山会」の総会が開催され、齋藤邦彦議員が参加しました。山辺会伊藤会長、狩野事務局長、日詰作谷沢会副会長が出席。会員50名余と近況報告や、故郷の話などを語ってきました。今年初の試みとして、大蔵在住の若者グループ『ちくわんぴーす』が郷土保存芸能『面白人形芝居（玉虫姫）』を上演。鳥海小・中学校閉校記念式時に見逃した会員の方のため上京。中地区からも多数出席し交友を温めてきました。



がんばって熊本

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 第28回日本一の芋煮会フェスティバル	馬見ヶ崎河川敷 双月橋付近	9月18日	直径6メートルの大鍋で煮炊きし味もスケールも日本一の芋煮会です。	協議会事務局 TEL 622-0141
上山市 第46回かみのやま温泉全国かかし祭り	月岡公園	9月17日 ～ 9月25日	10年ぶりとなる月岡公園での開催です。	上山市観光物産協会 TEL 672-0839
中山町 第9回元祖芋煮会 in 中山	最上川河川公園	9月10日	芋煮会発祥の地である中山町で行われる芋煮会です。	実行委員会事務局 TEL 662-2114



町の災害情報メールにご登録ください。

緊急時に町からのお知らせが届きます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

傍聴しませんか 次回の定例会は9月です。お気軽にどうぞ。電話667-1117 (議会事務局)

お願い 議会だより取材のため、議員が撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。